

令和3年度「青少年の非行・被害防止県民運動」実施要綱

1 目 的

本県の令和2年の少年非行の情勢は、刑法犯少年の検挙・補導人員が3年連続で減少し、令和2年は124人と前年に比べ29.9%減少しています。その一方で、SNSに起因する事犯の被害児童数の約9割がフィルタリングをしていないなど青少年を取り巻く情勢は、引き続き厳しい状況にあり、地域が一体となった青少年の非行・被害防止のための取組が必要とされています。

本県では、「いわて県民計画（2019～2028）」の理念である「幸福を追求していくことができる地域社会の実現」や、「いわて青少年育成プラン（2020～2024）」の基本理念である『健全で自立した「いわての青少年」を育むとともに、若者の活躍を応援する』のための取組を進めているところですが、青少年が夢や希望に向かって自分の個性や主体性を発揮できるよう、また、青少年が地域に誇りを持って健やかに成長できるよう、健全で自立した青少年の育成が重要となっています。

この県民運動は、国が実施する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と呼応し、「青少年は地域社会からはぐくむ」との観点で、家庭や学校、職場、地域住民等による青少年の健全育成のための諸活動を有機的に連携させ、関係する取組を集中的に実施することにより、青少年の非行・被害防止の徹底を図ろうとするものです。

2 期 間

令和3年7月1日（木）から8月31日（火）までの2か月間

3 主 唱

岩手県、岩手県教育委員会、岩手県警察本部、公益社団法人岩手県青少年育成県民会議

4 実施主体

岩手県、岩手県教育委員会、岩手県警察本部、公益社団法人岩手県青少年育成県民会議
市町村、市町村教育委員会、青少年育成市町村民会議（市町村青少年育成運動総合推進組織）
その他本運動に協賛する団体

5 実施事項

実施主体はそれぞれが連携し、県民とともに次の事項を実施することとします。

(1) 最重点課題

- ア 青少年がインターネットを適切に活用するための情報モラルの普及啓発、ペアレンタルコントロール機能の積極的な活用及びフィルタリング利用の促進広報等
- イ 青少年の非行防止及び性被害等に重点を置いた犯罪被害防止のための広報・啓発活動の実施

(2) 重点課題

- ア 青少年を取り巻く有害環境の実態調査、環境浄化活動及び関係業者に対する協力要請の実施
- イ 地域懇談会等の開催を通じた、青少年を巡る環境の改善
- ウ 家庭教育の充実強化（毎月第3日曜日「いわて家庭の日」の普及推進等）
- エ 学校、職場における青少年指導の充実強化
- オ 少年補導活動、各種相談事業の充実強化
- カ 困難を抱える青少年の立ち直り支援活動の推進

6 実施方法

- (1) 実施主体においては5に掲げる事項について、地域の実情に応じて関係機関、団体等と連携し、別表に掲げる諸活動を実施するものとします。また、期間中に行われる「社会を明るくする運動」（法務省主唱）などの、関連する各種運動と連携を図って行うものとします。
- (2) 県及び公益社団法人岩手県青少年育成県民会議は期間中、県民大会を開催します。（別途通知予定）

7 運動の継続的推進

実施主体は、実施状況の再点検により評価を加え、実施期間終了後においても非行・被害防止活動等の継続的推進に努めるものとします。

8 報 告

各実施主体においては、本運動の実施結果について別に定める方法により岩手県へ報告するものとします。

「青少年の非行・被害防止県民運動」実施方法

6 月中	1 市町村における県民運動の方策決定 (1) 青少年のための社会環境の現状把握、青少年非行の現状の把握 地域課題懇談会等の開催、関係機関との連絡等による情報収集 (2) 青少年のための地域社会環境のあり方の検討 問題点の選定や改善に向けた方針、今後の具体的方策等の検討 (3) 県民運動の展開方法の検討 ○ 有害環境の実態調査、点検活動 ○ 街頭啓発活動 ○ 地域活動 ○ 活動指針、活動内容の再点検
7 月 1 日～ 7 月 31 日	2 有害環境の実態調査、点検活動 (1) 調査班の編成 調査対象別、地域別等に調査班を編成して、事前研修を実施 (2) 実態調査の実施 過去の実態調査を参考にしながら、関係者の協力を得て実施 (3) 実態調査結果の取りまとめ等 実態調査結果に基づく課題整理 (4) 活動方策の取りまとめ
7 月 1 日～ 8 月 31 日	3 街頭啓発活動 (1) スマートフォン等によるインターネットの安全な利用方法に関する広報活動の実施 青少年（及びその保護者等）を対象とした、情報モラル教室の開催等 (2) 非行・被害防止啓発活動の実施 各機関・団体等の従前の啓発活動を集結させ、実効性の確保と広範な浸透を図る (3) 住民の意識啓発 広報紙、有線放送やマスコミ等の利用による住民の意識啓発 4 地域活動 (1) 地域懇談会の開催 学区、地区、自治会単位など、市町村の実情に即した懇談会の開催 (2) 地域活動の実施 ○ 不健全図書の「買わない・読まない・持ち込ませない」の三ない運動の実施 ○ 図書类等自動販売機の不設置に向けた地域ぐるみの取組 ○ 「いわて家庭の日」（毎月第 3 日曜日）の普及推進 ○ 「朝のあいさつ運動」「愛の一声運動」の実施 ○ 困難を抱える青少年の立ち直り支援 (3) 販売店への要請活動 携帯電話販売店等に対し、青少年へのフィルタリングに関する情報提供の要請
8 月 20 日～ 8 月 31 日	5 再点検、継続活動指針の策定 (1) 青少年に有害な環境の自主規制に関する実施状況の再点検 (2) 運動の総括と反省評価 (3) 継続的な地域活動推進方策の検討 11 月の「子ども・若者育成強調月間」との連動を視野においた活動の検討